

## 金ヶ瀬小学校

**福祉の授業**  
**「プラス思考で生きる」**  
 盲目のドラマー佐藤尋宜さんを講師に迎え、12月17日に5年生を対象とした福祉の授業を実施しました。佐藤さんご自身の体験を紙芝居にして、日常生活やハンデを持つ方への支援の仕方について教えていただきました。子どもたちは、目が見え

なくてもそれを困難と捉えず、普通の生活をしている人もいるということ、ハンデをもっているからといって、いつでも助けを待っているとは限らないことを知ることで、佐藤さんのお話を通して、プラス思考で前向きに生きることの大切さや素晴らしいことについて学ぶことができました。



## 大河原小学校

**引き継ぎ、受け継ぐ**  
 大河原小学校鼓笛隊は約半世紀の歴史があります。12月の「鼓笛引継ぎ式」は、主役である5・6年生をはじめ、4年生や多くの保護者、地域の方々が見守るなかで行われました。式では、楽器や衣装だけではなく「心、姿」を「引き継ぎ受け継ぐ」という熱く強い思い

が心地よい緊張感と共に伝わってきました。3学期は、5年生が4年生へ「大河原音頭」、4年生が3年生へ「大小ソーラン」を引き継ぎます。1年生は年長さんをお世話する幼保小交流活動を行います。今後も異学年の交流を通して心の成長を目指します。



# 学び舎通信

町内小中学校の情報を毎月お届けします

## さくら並木

### 「成人の日」に思う

～希望を失わず、感謝の心を忘れずに～

大河原町長 齋 清志

1月13日は、リニューアルされた中央公民館で、平成最後の「成人式」が挙行されました。式に参加した男女合わせて187名の新成人に対し、町民を代表して心からお祝いを申し上げたところです。華やかで手作り感のある式典でしたが、成人式を午前中に終えた近隣の新成人が飲酒のうえ乱入してきたのは何とも残念でした。法律で定められた「成人の日」の趣旨は、「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」と記されています。新成人の皆さんは、すでに立派な社会人として活躍されている方、あるいは大学や専門学校に進学して学業に専念されている方など、それぞれの道で頑張っていることでしょう。置かれている環境に違いはあっても、親や恩師、また友人など支えてくれた多くの人々に、改めて感謝の気持ちを伝えることを忘れないでほしいと思っています。そしてこのことが、大人の自覚への大切な第一歩だと考えています。

あう先進のまち」を目指すとした住民主役のまちづくりを継承しながら、町全体のブランド化による選ばれるまちを目標とする新たな第6次長期総合計画がスタートします。「人口減少社会における日本の創生は地方にあり」と言われるように、まさに日本の将来、そして本町の将来は次代を担う皆さんのこれからにかかっていると、言っても過言ではありません。社会のつながりの大切さを実感しながら、今後もこの町に住み魅力あふれる町となるよう若い力に大いに期待するところです。

そして、これから新成人の皆さんはいくつもの人生の岐路に立ち、自分の力で重要な選択や意志決定を重ねていくことになるはず。しかし、どんな時も自分の可能性を信じて積極的に挑戦してほしいと思います。人の取り組みには試練や失敗はつきものですが、一時の苦しみやしほしの傷みは大きく羽ばたいためのかみであり、やがて飛躍するための踏ん張りなのだと受け止めてください。

私もこれまでの人生では、辛く厳しい現実に直面し幾度



となく紆余曲折を繰り返してきましたが、どんな時も希望を失わず、そして感謝の気持ちを頑張る気力に変えて前進し続けてまいりました。新成人の皆さんも失敗することを恐れず、今日に・明日に明るい希望を持ち、前途にも洋々たる希望を持ち続けてほしいと心から願っています。うまくいかないから希望を失うのではなく、希望を失うから崩れていくのだと思います。

新成人の皆さんには、これから生まれ育った郷土を愛する思いを持ち続け、希望に満ちた人生を一步一步着実に歩んでいただくことを期待したいと思えます。今後のご活躍を心からお祈り致します。

(1月21日記)

## 人生訓



「人の一生は重荷を負うて、遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。」から始まる人生訓は、江戸幕府初代将軍、徳川家康の言葉と言われており、日光東照宮に納められています。昨年10月、2年生が、学習文化発表会で、この「人生訓」の群読発表をしました。2年生は、2学期から、部活動や委員会活動等で、3年生に代わりリーダーシップを発揮してきています。人生訓の発表は、2年生の今後の生活



## 暗唱大好き

大中編



への誓いの発表となりました。また2年生は2月1日に、第56回立志式を迎えます。本校の立志式は、今や日本に誇れる一大伝統行事です。2学期から着々と準備を進め挙行してまいります。

諸先輩方に続けとばかりに自分の将来の「目標」や「夢」に向けて大中学生は歩んでいきます。苦難や困難に将来出くわしたときに、人生訓を思い出し、その言葉を励みにして、たくましく歩んでいきます。

### 駅前図書館今月の新刊

### ま ち の 本 棚



#### 一般 ▶ 妻と正しくケンカする方法 小林 美智子:著 【大和書房】

返事を少し変えるだけで、家庭から怒りがなくなる!ケンカになりがちな夫婦の会話事例(ビフォー)を徹底解剖し、ケンカになりにくい夫婦の会話事例(アフター)を公開。今すぐ使える16シーンの具体的な夫の返事集も掲載。

#### 児童 ▶ いいね! 筒井ともみ:さく ヨシタケシンスケ:え 【あすなろ書房】

ボクがいちばん仲よしのあいつはヒーローなんだ。野球部じゃエースで4番。ボクはちょっとやせてるし背(せ)だって高くない。両親も妹もみんなメガネ族なんだ。そんなボクだけど、あいつが出る試合は全部見ている、あいつもときどきボクにアドバイスを聞いたりするんだ…。世の価値観(かちかん)をひっくり返す短お話が20本のっています。

#### 小説 ▶ 悲願花

下村 敦史:著 【小学館】

両親の起こした火事でひとり生き残った幸子。子供たちを乗せた車で海に飛び込み、生き残ってしまったシングルマザーの雪絵。被害者と加害者の思いが交錯した時、衝撃の事実が明らかになる…。

#### 絵本 ▶ めかどこすけ!

かとうまふみ:作 【あかね書房】

おいらは、せとものやのうれのこりの「かめ」。でも、きょう、おいらをてとってくれたばあちゃんがいたんだ。はじめてのしごとで、おいらははりきった。でも、ばあちゃんは、くちやくちやしたものを、ぎゅうぎゅうとつめこんだ。おいら、がっかりした。おまけに、まいにちかきまげられ、だんだんにおいびりしてきた。そして、わらいごえも…。